特許協力条約

PCT

特許性に関する国際予備報告(特許協力条約第二章)

(法第12条、法施行規則第56条) [PCT36条及びPCT規則70]

REC'D	28	OCT	2005
WIPO			PCT

出願人又は代理人 の書類記号 20819	今後の手続きについ	の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。			
国際出願番号 PCT/JP2004/008060	国際出願日 (日.月.年) 03	. 06. 2004	優先日 (日.月.年) 04.	06. 2003	
国際特許分類 (IPC) Int.Cl. B62D65/0	·				
出願人 (氏名又は名称) 本田技研工業株式会	· 社				
1. この報告書は、PCT35条に基づき 法施行規則第57条(PCT36条)の	 この国際予備審査機関 D規定に従い送付する。]で作成された国際予	備審査報告である。		
2. この国際予備審査報告は、この表紙	を含めて全部で	<u>3</u> ページ	からなる。		
3. この報告には次の附属物件も添付さ a. 「 附属書類は全部で					
「 補正されて、この報告の基 囲及び/又は図面の用紙	(PCT規則 70.16 及び	火実施細則第607号参	(開)	i	
□ 第 I 欄 4 . 及び補充欄に示 国際予備審査機関が認定し	:したように、出願時! .た 差 替え用紙	こおける国際出願の関	示の範囲を超えた補正	を含むものとこの	
b. [電子媒体は全部で				類、数を示す)。	
配列表に関する補充欄に示す (実施細則第802号参照)	ように、電子形式によ	よる配列表又は配列 表	とに関連するテーブルを	au.	
4. この国際予備審査報告は、次の内容					
第 I 欄 国際予備審査 第 I 欄 優先権 第 II 欄 優先権 第 II 欄 発明の単一性 第 IV 欄 P C T 35条(2) けるための文 第 VI欄 国際出願の不 第 VII 欄 国際出願の不 第 VII 欄 国際出願に交	性又は産業上の利用で の欠如 りに規定する新規性、 献及び説明 文献 体			解、それを裏付	
		国際予備審査報告			
国際予備審査の請求書を受理した日 04.04.200	国際予備審査の請求 否 を受理した日 04.04.2005				
名称及びあて先 日本国特許庁(I PEA/J	特許庁審査官(権	限のある職員) 三澤 哲也	3D 3322		
郵便番号100-891 東京都千代田区設が関三丁目	_	電話番号 03-	3581-1101 💆	9線 3341	

第 I	棚	報告の	基礎				
1.	福官	 ご関し、	この予備審査	報告は以下の	ものを基礎とし	た。	
	₽	出願時	の言語による	國際出願			
	Ë	出願時	の言語から次の	り目的のための	の言語である_	語に翻	訳された、この国際出願の翻訳文
			奈調査(PCT				
			際公開(PCT	規則12.4(a))		
			際予備審査 (F			a))	
2.	この た <i>差</i>	報告は ⁻ 替え用網	下記の出願 魯舞 紙は、この報告	「を基礎とした において「出	さ。 (法第6条 願時」とし、	(PCT14条)の規定に この報告に添付していな	基づく命令に応答するために提出され い。)
	V	出願時	の国際出願書	頁			
	П	明細醬	F				
		第			ページ、	出願時に提出されたもの	
		第			 ページ*、		付けで国際予備審査機関が受理したもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの
		第			ページ*、		付けで国際予備番食機関が受埋したもの
		請求の					
		第			項、	出願時に提出されたもの	
		笛			項*、	、PCT19条の現正にあ	らつざ相正されたもの
		第			項*、		付けで国際予備審査機関が受理したもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの
		第			~ \		TANK A MINE A NIE M CONSISSAN NA
		図面				Alamanda andre da de de de de de de de	.
		第			・ページ/凶 、 ・ページ/四:	出願時に従出されたもの	の _ 付けで国際予備審査機関が受理したもの _ 付けで国際予備審査機関が受理したもの
		那 笛			・ハーシノ凶 *・ ページ/図 *・	`	付けで国際予備審査機関が受理したもの
		-					-
			と又は関連する 記列表に関する		けること。		
		E	ルグリタストに関する	110 70-1149 C. 95 7.14	. ,		
3.	_	緒 正1	により、下記の	事題が削除さ	int.		
٥.	I J						
				第			作
			オの範囲	第 第			. 頃 - ページ/図
			図面 記列表(具体的		٤)		
			記列表に関連す	るテープル(/ (具体的に記載 [~]	すること)	
4.	_	- σ:	報告は、補充機	に示したよう	うに、この報告	に添付されかつ以下に示	した補正が出願時における開示の範囲を超
*:	B _{ree} d	えて	されたものと記	Bめられるので	で、その補正が	されなかったものとして	作成した。 (PCT規則 70.2(c))
			明細樹	笹			ページ
		p	カネマ カネの範囲	第			項
				第			
			配列表(具体的	に記載するこ	(논)		
			配列表に関連す	るテープル	(具体的に配破)	すること)	
1							
-							
_	Λ	[一日长 2](-	する場合。その)用紙に "eun	erseded" 上記	入されることがある。	
١	٦.	に吹出	, want C.	. unate aub			

第V	欄 新規性、進歩性又は産業上の それを裏付ける文献及び説		<u>-</u> ついての法第 12 条(P C T 35 条(2))に定める兄舟、 	
1.	見解			
	新規性(N)	請求の範囲 _ 請求の範囲 _		無
	進歩性(IS)	請求の範囲 _ 請求の範囲 _	1-4	· 有 ₋ 無
	産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲 請求の範囲	1-4	_ 有 _ 無 -

2. 文献及び説明 (PCT規則 70.7)

文献1:JP 7-104127 B

(ラインメタル・マシーン・ビジョン・ゲー・エム・ベー・ハー) 1995.11.13 文献2:JP 2-55268 B (株式会社不二越) 1990.11.26

請求の範囲1及び2に係る発明は、国際調査報告に引用された文献1 (明細書全文,第1-16図)及び文献2 (明細書全文,第1-6図)とにより進歩性を有しない。

文献1には、左右方向に湾曲したウインドグラスを自動車の車体に精度良く取付けるための「自動車用ウインドグラスの取付方法」の発明が記載されている。

文献 2 には、自動車用ウインドグラスを精度良く取付けるために、ウインドグラスの左右端部、ウインドグラス取付面及びその外側の 3 部分を照射する「自動車用ウインドグラスの取付方法」の発明が記載されている。

文献1に記載されたようにウインドグラス取付面及びその外側の2部分を照射する方法に代えて、文献2に記載されたようにウインドグラスの左右端部、ウインドグラス取付面及びその外側の3部分を照射する方法を付加することで、請求の範囲1及び2に係る発明とすることは、当業者であれば容易に想到し得ることである。

請求の範囲3及び4に係る発明は、国際調査報告に引用された文献1及び文献2とにより進歩 性を有しない。

文献1には、左右方向に湾曲したウインドグラスを自動車の車体に精度良く取付けるための「自 動車用ウインドグラスの取付装置」の発明が記載されている。

文献 2 には、自動車用ウインドグラスを精度良く取付けるために、ウインドグラスの左右端部、 ウインドグラス取付面及びその外側の 3 部分を照射する「自動車用ウインドグラスの取付装置」 の発明が記載されている。

文献1に記載されたようにウインドグラス取付面及びその外側の2部分を照射する取付装置に代えて、文献2に記載されたようにウインドグラスの左右端部、ウインドグラス取付面及びその外側の3部分を照射する取付装置を設けることで、請求の範囲3及び4に係る発明とすることは、当業者であれば容易に想到し得ることである。